

物質化学専攻	研究分野	分析・環境化学	Lab. ID MC10
研究室Webサイト	http://araim.ch.t.kanazawa-u.ac.jp/		
研究課題の概要			
<p>分析・環境化学研究室では、応用化学的な観点から、環境並びに生体内における化学物質の動態を明らかにし、人間活動と地球環境の調和を実現するため、以下の研究を行っています。1) 土壌や廃棄物からレアメタルや有害金属を効率的に分離する新しい湿式化学洗浄法を開発する、2) 自然サイクルの中で、微量化学種を用いて海洋植物プランクトンの増殖を自在に制御する技術を開発する、3) 自然水中における微量元素の化学形態別分析法を開発し、動態・影響評価を行う、</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<ul style="list-style-type: none"> ・当研究室では、研究者・技術者として社会で通用する力を身に付けるために、大学院への進学を強く推奨しています。学部卒では、一つの分析法や課題をマスターするだけで一年間が終わってしまい、社会で要求される十分な能力を身につけることができません。当研究室では、一つ上の世界を目指すことのできる研究者・技術者を育てたいと考えています。 ・博士前期課程では、主任指導教員を中心とするいずれかの研究グループに所属して、研究テーマに関する実験・研究を行います。研究室全体のセミナーや雑誌会に毎週参加し、学会の全国大会や若手会で研究成果を発表します。 ・博士後期課程では、国際会議に積極的に参加し、国際的な学術雑誌へ研究成果を発表することを学びます。 			
研究室生活の紹介等			
<ul style="list-style-type: none"> ・学生一人一人に学習機と研究スペースが割り当てられます。 ・環境研究のための様々な分析機器や解析装置を自由に使うことができます。 ・他大学の研究者や共同研究先の企業研究者と交流する機会が多くあります。学生一人一人が自立した研究者・技術者として責任ある立場で活動することが望まれます。 ・留学生や外国人研究者がいて、日常で国際コミュニケーション能力を身につけることができます。 ・修了生は、分析化学に限らず、様々な分野に就職し、活躍しています。 			
教員からのメッセージ			
<ul style="list-style-type: none"> ・大学院への進学を強く推奨しています。研究を楽しむための支援は惜しみません。 ・4年生-博士前期課程の3年間の研究室活動を通して、環境・分析化学分野に限らず、化学の立場から問題解決を提案できる総合的な力を養成します。 ・国内外の学会発表や共同研究の取り組みを通じて多様な異分野の研究者と交流し、科学技術に対する視野を広げます。 			
研究室連絡先メールアドレス	長谷川 浩 <hhiroshi *at*se.kanazawa-u.ac.jp>		